

AX2500S シリーズ

# スタック操作ガイド

《運用・保守》

資料 No.

**初版 (Rev.1)**

資料 No. NTS-14-R-009

## はじめに

本資料は、アラクサラのAX2500Sシリーズ L2スタックの運用および保守の操作方法について理解を深めてもらうことを目的としています。AX2500Sのスタック機能を利用される機器の運用および保守する際に、製品マニュアルを補足する技術資料として、ご活用ください。

### 関連資料

- ・ AX2530S シリーズ製品マニュアル  
(<http://www.alaxala.com/jp/techinfo/manual/index.html>)  
《ソフトウェアマニュアル》
  - ・ コンフィグレーションガイド Vol.1
  - ・ コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1
  - ・ 運用コマンドレファレンス Vol.1《ソフトウェアアップデートガイド》

### 本資料使用上の注意事項

本資料に記載の内容は、弊社が特定の環境において基本動作を確認したものであり、機能・性能・信頼性についてあらゆる環境条件すべてにおいて保証するものではありません。また製品マニュアルの補助資料としてご利用いただけますようお願いいたします。

なお本資料作成時の OS ソフトウェアバージョンは特記の無い限り以下となっております。

AX2530S Ver. 4.0.C

また 各種ソフトウェアマニュアルの「はじめに」のなかに スタック動作時の対応機能とサポート項目および制限事項を記載しています。AX2500S シリーズのスタック機能をご使用するまえに ご一読いただけますようお願いいたします。

本資料の内容は、改良のため予告なく変更する場合があります。

### 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをおとりください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせ下さい。

### 商標一覧

- ・ アラクサラの名称およびロゴマークは、アラクサラネットワークス株式会社の商標および登録商標です。
- ・ Ethernetは、富士ゼロックス(株)の商品名称です。
- ・ イーサネットは、富士ゼロックス(株)の商品名称です。
- ・ そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

## 改訂履歴

版数	Rev	日付	変更内容	変更箇所
初版	-	2014.07.28	初版発行	
	1	2014.10.21	ソフトウェアバージョン Ver.4.0.C に対応 ・スタック準備動作モードおよび リモート設定コマンド (set commnad)を Ver.4.0.Cからサポートしました。	はじめに, 1.1, 2.4

## 目次

<b>1. スタックの運用について</b> .....	<b>5</b>
1.1 運用コマンドとコンフィグレーションコマンド .....	5
1.2 スタックの構築手順 .....	6
1.3 メンバスイッチの基本操作.....	6
1.4 スタックの状態表示 .....	7
1.5 ソフトウェアアップデート手順.....	9
1.6 スタック状態のバックアップ・リストア機能 .....	11
1.7 バックアップしたコンフィグレーションに戻す手順 .....	12
1.8 メンバスイッチの削除 .....	13
1.9 メンバスイッチの追加 .....	13
1.10 異なる装置モデルに交換する方法.....	15
<b>2. スタックの保守について</b> .....	<b>17</b>
2.1 バックアップとリストアの概要.....	17
2.2 装置の交換方法 .....	17
2.3 バックアップ・リストア機能を使用する方法.....	18
2.4 スタック準備動作モードを使用する方法 .....	21
2.5 障害情報の採取手順 .....	23
2.6 スタックスイッチをスタンドアロンに戻す手順.....	23

# 1. スタックの運用について

## 1.1 運用コマンドとコンフィグレーションコマンド

AX2500S シリーズでスタックを構築する際、設定に必要な運用コマンドとコンフィグレーションコマンドは以下に示すコマンドです。

運用コマンドでは スタックの動作モード、スイッチ番号を設定し、コンフィグレーションコマンドでは マスタ選出優先度、装置モデル、スタックポートなどを設定します。

運用コマンドの詳細は「[運用コマンドレファレンス 5 スタック【OS-L2A】](#)」、コンフィグレーションコマンドの詳細は「[コンフィグレーションコマンドレファレンス 4 スタック【OS-L2A】](#)」を参照ください。

### ◆ 運用コマンド一覧

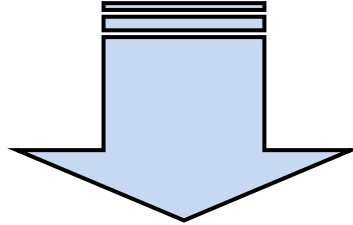
	コマンド	説明
動作モード 【必須】	<code>set stack {enable   disable   boot}</code>	スタックの動作モードを設定します。 【enable: スタンドアロン⇒スタック】【disable: スタック⇒スタンドアロン】【boot: スタック準備動作モード】に移行します。設定を有効にするためには、装置の再起動が必要です。
スイッチ番号 【必須】	<code>set switch</code>	スタックを構成しているスイッチ番号を変更します。【スタンドアロン⇒スタック】へ移行する際に使用します。この変更を有効にするためには、装置の再起動が必要です。
スタック準備 動作モード ※	<code>set remote switch</code> ※	スタック準備動作モードで起動している装置にスイッチ番号を設定します。
	<code>set remote license</code> ※	スタック準備動作モードで起動している装置にライセンス情報を設定します。
	<code>set remote stack {enable   disable}</code> ※	スタック準備動作モードで起動している装置をスタック動作モードに変更します。

※ スタック準備動作モードおよびリモート設定コマンド(set remote)は Ver.4.0.0 からサポートしました。

### ◆ コンフィグレーションコマンド一覧

	コマンド	説明
マスタ選出 優先度	<code>switch priority</code>	スタックの動作時、メンバスイッチのマスタ選出優先度を設定します。 <2 ~ 31>の範囲で指定可能です。
装置モデル	<code>switch provision</code>	メンバスイッチの装置モデルを設定します。
スタック ポート	<code>switchport mode stack</code>	スタックを構成するメンバスイッチ間を接続するスタックポートを設定します。
パスコスト	<code>switchport stack cost</code>	スタックのパスコストを設定します。
スタック 装置 MAC	<code>system mac-address</code>	スタックの装置 MAC アドレスを設定します。

**気になる続きは…**



**・アラクサラ インテグレータ会員**

**または**

**・ビジネスパートナー様会員**

**にご登録いただければ、全てをご覧いただけます！**

[アラクサラ インテグレータ会員](#)または[ビジネスパートナー様会員](#)へ登録することで、アラクサラ製品のご利用にあたり役立つ各種資料(システム構築ガイドなど)を全て閲覧することができます。ぜひこの機会にご登録下さい。

**アラクサラネットワークス株式会社**

〒212-0058

川崎市幸区鹿島田一丁目 1 番 2 号 新川崎三井ビル西棟

<http://www.alaxala.com/>